

戸田市 肉水

ハザードマップ

Toda City Inland Waters Hazard Map
戸田市内水災害地図
도시내수 재해 지도
Mapa de Risco de Inundação por Águas Pluviais da Cidade de Toda



情報の収集について

- 行政から住民へ伝える (プッシュ型)**
 - 緊急速報メール・緊急速報エリアメール
 - 災害時に緊急情報をメールで配信します。 ※詳しくは携帯電話会社各社のホームページをご確認ください。
 - NTTドコモ https://www.nttdocomo.co.jp/service/areamail/areamail_app/
 - au <https://www.au.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/saigai-hinan/>
 - ソフトバンク https://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/
- 戸田市公式Xアカウント https://x.com/toda_city
- スマートフォンアプリ「Yahoo! 防災速報」
 - 台風の接近や避難所の開設状況などの緊急情報を配信します。 <https://emg.yahoo.co.jp/>
- いいたメール(事前登録が必要)
 - 登録した携帯電話やパソコンにメールで防災情報を配信します。詳しくは、ホームページをご確認ください。 <https://www-sa.smart-igov.jp/user/manage/toda/>

住民側から情報を入手する (プル型)

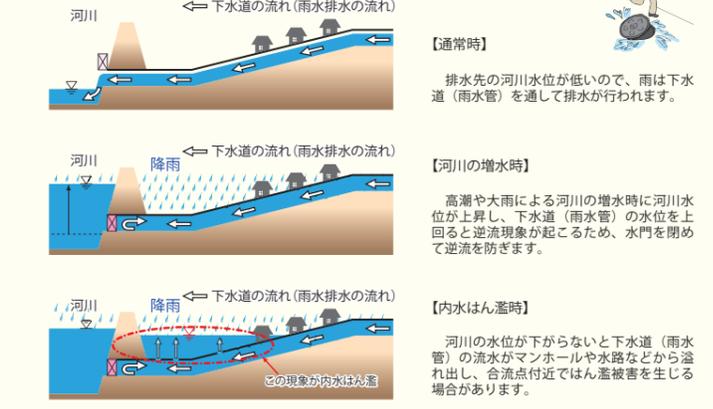
- 戸田市防災ポータル
 - 防災情報、気象情報など <https://toda.portal.dmaccs.jp/>
- 戸田市気象情報
 - 戸田市の注意報・警報など <https://www.micosweb.jp/web/toda-city/map>
- 埼玉県防災ポータルサイト
 - 埼玉県の注意報・警報など <https://www.pref.saitama.lg.jp/theme/anzen/>
- 国土交通省 川の防災情報
 - 河川の水位観測データ・雨量観測データなど <https://www.river.go.jp/index>
- 気象庁
 - 降水の短時間予報・洪水警報の危険度分布・台風情報・地震情報など <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

戸田市内水ハザードマップに関するお問い合わせ
戸田市役所新南庁舎 下水道施設課
住所 〒335-0026 埼玉県戸田市新南 3-1-5
TEL048-229-4673
令和8年3月印刷

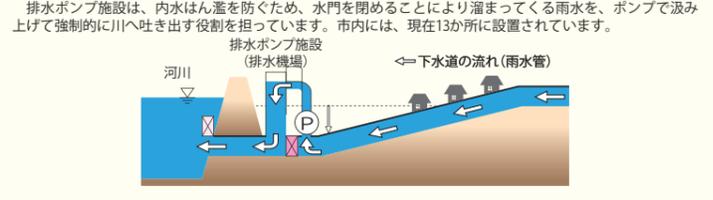
内水はん濫のメカニズム

市街地に降った大雨がマンホールなどから地表にあふれる現象を「内水はん濫」といい、堤防の決壊などによりはん濫する「外水はん濫」と区別されます。
内水はん濫とは? What is 'inland flood'? / 什么是内水泛滥? / Que é inundação por águas pluviais?
地域内に降った雨が下水道や小河川から排水できずに、雨水が地域内にたまっていく浸水被害です。そのため、被害の多くは、家財や自動車などの経済被害がほとんどで、自宅の2階などに待避していれば命の危険にさらされることはありません。その一方で、浸水している中を避難しようとしてその途中で被災してしまう方も少なくありません。
近年、全国各地で集中豪雨の多発により、内水はん濫による被害が発生しています。戸田市でも、多くの内水はん濫による浸水被害が発生しています。

内水はん濫発生イメージ

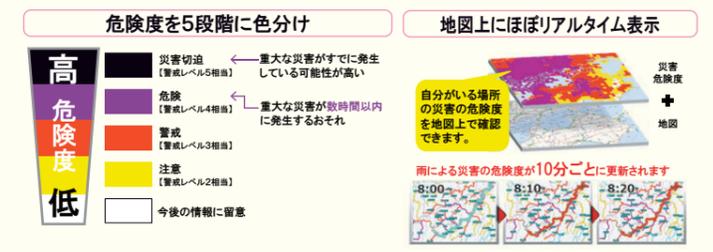


排水ポンプ施設について



「防災気象情報」の活用

警報等の情報が発表された際には、危険度を地図上に示した「キキクル」や、今後の危険度の推移を示した「早期注意情報」などを、気象庁ホームページで確認してください。
5色のサインで「逃げどき」が分かる防災ガイドです。
●キキクル(いまどのくらい危険なの? をチェックしよう)
「キキクル」は、大雨などによる災害の危険度を、5段階の色分けされた地図で確認できるツールです。10分毎に更新されるため、リアルタイムで自分の危険度を確認できます。



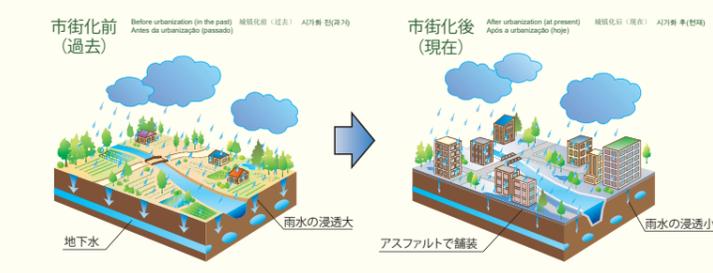
「キキ」が「クル」のわかります。避難するタイミングは「レベル3」と「レベル4」

●早期注意情報
「早期注意情報」は、今後の警報・注意報等の見通しを確認できるツールです。

時間	危険度	対応
2時間~0時間前	レベル4 大雨危険警報	ひなしじ 避難指示
数時間~3時間前	レベル3 大雨警報	高齢者等避難
半日~数時間前	レベル2 大雨注意報	避難行動を確認
数日~1日前	早期注意情報	災害への心構えを高める

内水はん濫がおこる背景について

雨水は下水道管や道路側溝、水路を流れて河川へ排水されていきます。通常、下水道管や道路側溝、水路は1時間当たり50mm(5cm)程度までの強さの雨に対応できるように設計されていますが、最近では1時間当たり50mm(5cm)を超えるような雨が降ることも珍しくありません。一方、住宅の増加や田畑の減少など都市化が進み、雨水の浸透先が無くなってきているのも現状です。このため、集中的に豪雨が降った場合は一気に下水道管に流れが集中し、短時間のうちに処理しきれない雨水が溢れ出し、道路冠水などの浸水を引き起こす状況が多くなってきています。



雨水が地下にしみ込んだり、水田にたまっていくため、急に川の水が増えることはありません。
雨水が屋根やアスファルトの上を流れ、短時間で一気に川や下水道に集まり浸水が発生しやすくなります。

内水はん濫時に予想される浸水深と行動の限界について

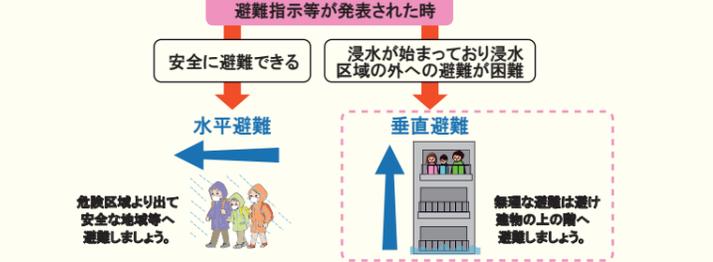
浸水深	人	行動の限界	自動車	行動の限界
7.0 cm 以上	大人の男性が行動できなくなる	水圧でドアが開かず脱出不可となる		
5.0 cm 以上	大人の女性が行動できなくなる	車体が浮き始める		
4.0 ~ 5.0 cm		マフラーの水溜でエンジンが停止する		
3.0 ~ 4.0 cm		すばやく安全な場所に移動が必要		
2.0 ~ 3.0 cm	子どもが行動できなくなる	ブレーキの利きが悪くなる		
1.0 ~ 2.0 cm		走行に支障して特に直視しない		
1.0 cm未満				

内水はん濫における避難方法とタイミング

●警戒レベルと取るべき行動
●防災気象情報が新しくなりました！大雨などの災害リスクが高まるたびに、「警報」などの「防災気象情報」が発信されます。下の図は、災害が発生するまでに出される「防災気象情報」と行動例の関係を時系列に沿って表したものです。災害の危険が高まると、レベル1~5の情報が順次発表され、各レベルに応じて、取るべき行動も変わります。

時系列	警戒レベル	注意報・警報	避難情報※3	住民がとるべき行動
災害発生	5	レベル5 大雨特別警報	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保※1	命の危険・ただちに安全確保！
<警戒レベル4までに必ず避難！>				
2時間~0時間前	4	レベル4 大雨危険警報	ひなしじ 避難指示	危険な場所から全員避難
数時間~3時間前	3	レベル3 大雨警報	高齢者等避難	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
半日~数時間前	2	レベル2 大雨注意報		避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
数日~1日前	1	早期注意情報		災害への心構えを高める

●避難のタイミングと行動
避難開始の状況によって、適切な避難行動を判断する必要があります。「内水はん濫」では、自宅の2階やマンションの高層階などへの「垂直避難」が有効とされています。すでに浸水が始まっている場合や、足元が確認できない夜間の避難では、外に出ることで危険が高まるため、安全な地域へ移動する「水平避難」だけでなく、「垂直避難」が有効な場合も多くなります。雨の降り方や時間帯、浸水状況から適切な避難方法を取りましょう。



雨の強さと降り方



危険な場所には近づかない!

●アンダーパス
アンダーパスとは、立体交差で掘下式になっている部分をいいます。大雨が長く続くと、一番低い場所から水が溜まりはじめ、時にはアンダーパス全体を覆い尽くしてしまうこともあります。まだ通れると思っても侵入してしまったり、車が出でなくなったり、脱出できなくなったり死亡に至ったケースもありますから非常に危険です。少しでも危険を感じたら迂回をしましょう。

●地下室
地下室も、大雨が続いた場合は危険です。特に密閉された地下室では地上の様子が見えません。また、浸水に気づきドアを開けようと思っても水圧で開かない場合や、逆に一気に水が充満してしまう場合もあります。地下室でも死亡事故の起きたケースがありますから、大雨の恐れがある場合は地下室への入出は避けましょう。

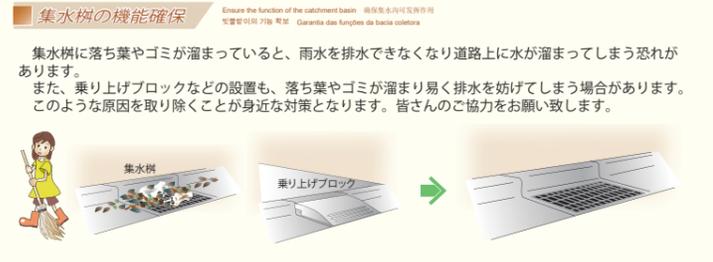
●地下駐車場
大雨時は地下駐車場も危険です。特に、駐車場の出入口などに浸水防止用の設備が無い場合は、一気に水が流れ込んでくる危険性があります。車は水深が50cmを超えると車体が浮き始めます。このような時に脱出しようとして駐車場に入るのはさらに危険です。絶対にやめましょう。

大雨の恐れがある場合は地下室への入出は避けましょう。

●地下駐留
大雨時は地下駐留も危険です。特に、駐車場の出入口などに浸水防止用の設備が無い場合は、一気に水が流れ込んでくる危険性があります。車は水深が50cmを超えると車体が浮き始めます。このような時に脱出しようとして駐車場に入るのはさらに危険です。絶対にやめましょう。

●身近にできる浸水対策
集水木の機能確保
集水木に落ち葉やゴミが溜まると、雨水を排水できなくなり道路上に水が溜まってしまう恐れがあります。また、乗り上げブロックなどの設置も、落ち葉やゴミが溜まり易く排水を妨げてしまう場合があります。このような原因を取り除くことが身近な対策となります。皆さんのご協力をお願い致します。

身近にできる浸水対策



●土のうの設置
水害時の浸水防止対策には、土のうが効果的です。戸田市では、市民の方が、必要に応じて、いつでも土のうを持ち出せるように市内23か所に「土のうステーション」を設置しています。(裏面地図参照) 土のうステーションの中にある土のうの重さは、1袋10kg程度です。



●雨水貯留施設等(雨水タンク)
雨水貯留施設は、降った雨を蓄える施設で、それが小さなダムとなって浸水を防ぐ効果があります。戸田市では、設置費用の半分(上限5万円)を補助しています。

詳しくは水安全部総務課へお問い合わせください。